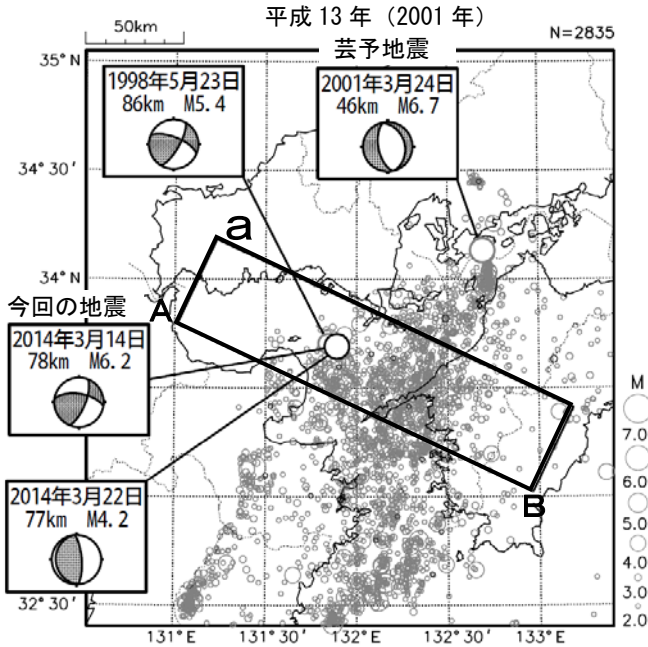
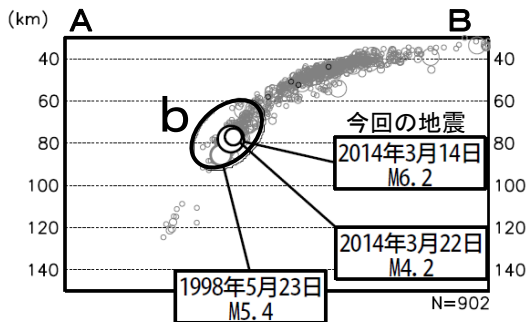


3月14日 伊予灘の地震

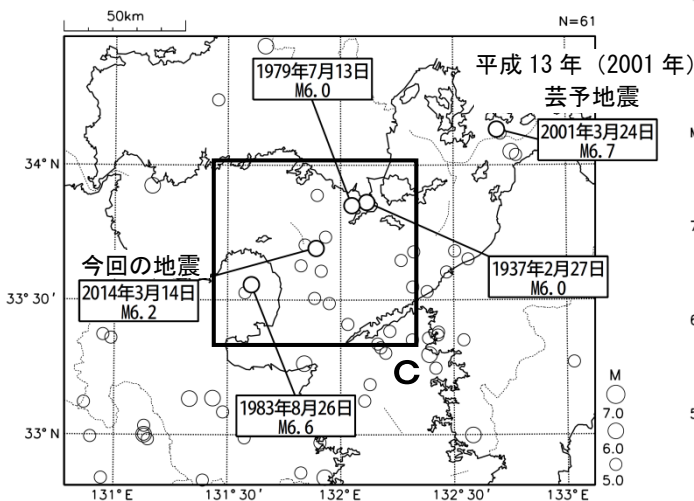
震央分布図
(1997年10月1日～2014年3月31日、
深さ30～150km、 $M \geq 2.0$)
2014年3月の地震を濃く表示



領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図
(1923年1月1日～2014年3月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)

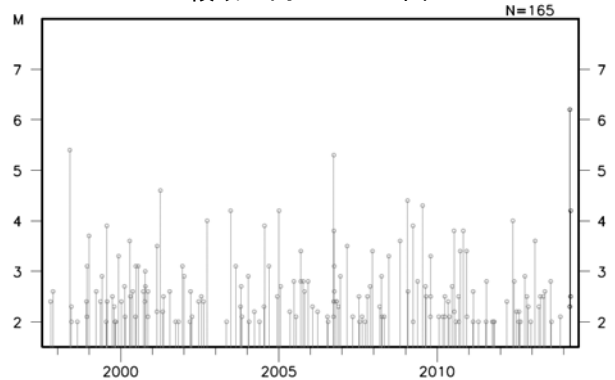


2014年3月14日02時06分に伊予灘の深さ78kmでM6.2の地震(最大震度5強)が発生した。この地震は、発震機構が東北東-西南西方向に張力軸を持つ型で、フィリピン海プレート内部で発生した。この地震により、広島県や愛媛県などで負傷者21人、住家の一部破損の被害が生じた(3月14日現在。総務省消防庁による)。余震活動は低調で、震度1以上を観測した余震は、3月22日に伊予灘の深さ77kmで発生したM4.2の地震(最大震度3)のみである。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では定常的な地震活動がある。1998年5月23日にM5.4の地震(最大震度4)が発生しているが、M6.0以上の地震は今回が初めてである。また、今回の地震から北東に約100km離れたところで、「平成13年(2001年)芸予地震」(M6.7、最大震度6弱)が発生した。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域c)では、1983年8月26日にM6.6の地震が発生し、広島市内で負傷者1人、ガラス破損、山崩れなどの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図



領域c内のM-T図

